

「東大路通整備構想（素案）」に対する市民意見募集（パブリックコメント）の結果

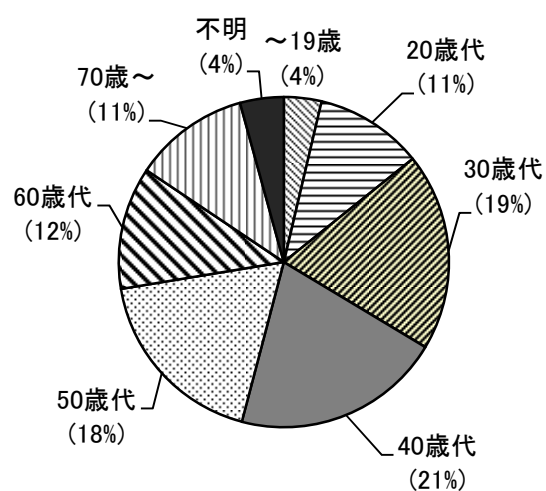
1 意見数

- ・ 1, 6 8 4 通
- ・ 1, 9 4 6 件

2 御意見をお寄せいただいた方の属性

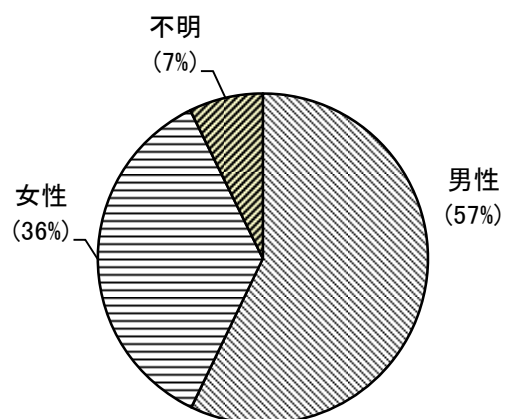
<年齢別>

年齢	通数	割合 (%)
～19歳	62	4
20歳代	178	11
30歳代	326	19
40歳代	345	21
50歳代	308	18
60歳代	202	12
70歳～	191	11
不明	72	4
計	1,684	100



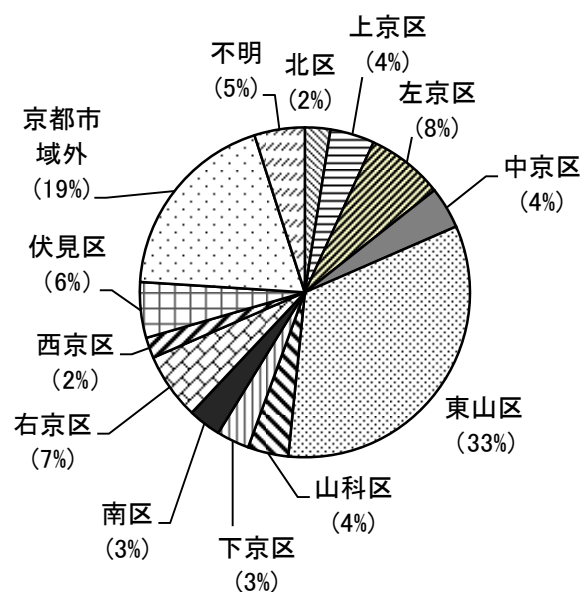
<性別>

性別	通数	割合 (%)
男性	962	57
女性	600	36
不明	122	7
計	1,684	100



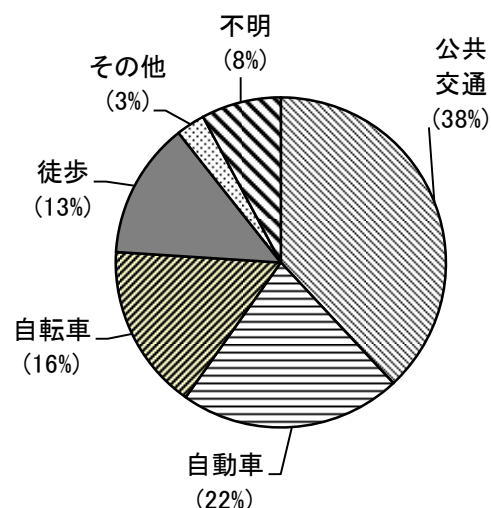
<行政区別>

行政区等	通数	割合 (%)
北区	4 2	2
上京区	7 3	4
左京区	1 2 7	8
中京区	6 9	4
東山区	5 5 8	3 3
山科区	6 7	4
下京区	5 4	3
南区	5 4	3
右京区	1 1 0	7
西京区	3 4	2
伏見区	9 2	6
京都市域外	3 2 1	1 9
不明	8 3	5
計	1, 6 8 4	1 0 0



<主に利用される交通手段> (複数回答)

交通手段	通数	割合 (%)
公共交通	7 5 5	3 8
自動車	4 3 1	2 2
自転車	3 2 2	1 6
徒歩	2 6 5	1 3
その他	5 6	3
不明	1 5 5	8



(参考)

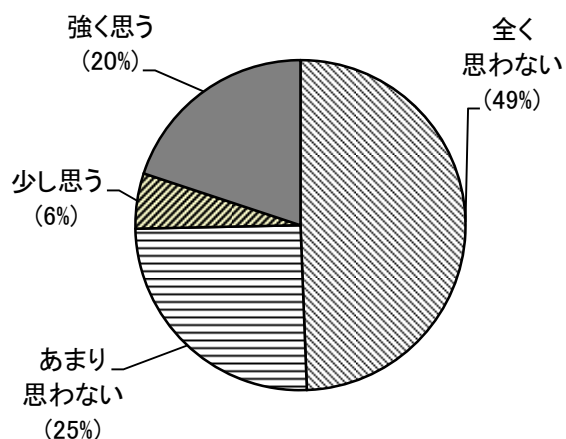
<提出方法別>

提出方法	持参	郵送	FAX	ホームページ	計
通数	4 6 1	1 9 2	2 1 9	8 1 2	1, 6 8 4
割合 (%)	2 7	1 2	1 3	4 8	1 0 0

3 意見内容

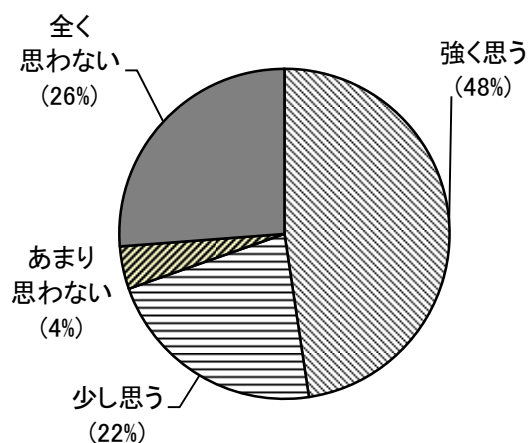
① 現在の東大路通では、歩行者や自転車が安心・安全で快適に通行できていると思いますか。

全く思わない	801件 (49%)
あまり思わない	410件 (25%)
少し思う	88件 (6%)
強く思う	323件 (20%)
計	1,622件 (100%)



② 東大路通では、現在の道路幅員の中で、歩行者や自転車が安心・安全で快適に通行できるよう、車線数の減少等も含めた整備を行うことが必要だと思いますか。

強く思う	785件 (48%)
少し思う	362件 (22%)
あまり思わない	69件 (4%)
全く思わない	432件 (26%)
計	1,648件 (100%)



御意見（要旨）と御意見に対する本市の考え方

1 東大路通の現状の問題点等に関する御意見 369件

いただいた御意見(要旨)	意見数	本市の考え方
歩道が狭く勾配も急なため、歩きにくい。	100	整備構想（素案）においても、東大路通の歩道は幅員が狭く、段差などのバリアがあり、歩道が車道から民地側に向けて傾斜している箇所もあることなど、課題をお示ししています。
歩道が狭く、歩行者にとって安全な歩行環境とはいえない。	20	そのうえで、道路空間の見直しを行うことにより、歩行者が安心・安全で快適に通行することができる歩行空間を整備することを基本方針としています。 今後、様々な調査を行い、その結果も踏まえて、基本方針を具体化していきます。
慢性的に交通混雑（渋滞）している。（特に観光シーズンや週末）	92	東大路通は市内中心部の幹線道路であり、また、通過交通や観光を目的として自動車で訪れる方が多く、自動車交通量が多いという特徴と課題を踏まえて、整備構想（素案）において、他の市内幹線道路への自動車交通の適切な誘導・分散を行うこととしています。 観光シーズンの対策としては、臨時のパークアンドライドや交通規制などの交通対策を実施しているところですが、公共交通の利用促進策をはじめ「歩くまち・京都」総合交通戦略に掲げる取組を幅広く展開していきます。

いただいた御意見(要旨)	意見数	本市の考え方
バス停付近は、バス待ちの人や乗降客が狭い歩道にあふれ、通行しづらい。	37	路線バスは、東大路通の主要な公共交通機関であり、運行本数も多く便利な一方で、バス停にバスが連なって停車することがあり、バス乗降客が狭い歩道にあふれ、歩行者の通行に支障を及ぼしています。また、交通混雑等の発生に伴い、路線バスの定時性が損なわれています。 こうしたことから、整備構想（素案）においても、路線バスの適切な利用環境の確保、公共交通の効率的で円滑な運行を掲げ、円滑な乗降車、バス待ち環境の改善、バスの定時性の確保に取り組むこととしています。
路線バスについて、渋滞のため定時性が確保できない。また、バス停に連なって停車するうえに乗降車に時間がかかり渋滞の原因となっている。	17	他の市内幹線道路への自動車交通の適切な誘導・分散により自動車の流入抑制を図ることを目指していますが、バス停付近での車道の交通混雑については、今後の詳細な調査の結果を踏まえて、具体的な対応を検討していきます。
車道が狭く、自転車が安全に車道を通行できない。やむを得ず、歩道を走ることもある。	35	自転車は、環境にやさしい交通手段であり、その安全な走行環境の充実を図る必要があり、このため、整備構想（素案）の基本方針に、自転車にも安全な道路空間の整備と、歩行者、自転車、自動車がともに交通ルールとマナーを守る安心・安全なまちづくりを掲げており、ハード、ソフト両面での取組を推進していきます。
自転車がスピードを出して歩道を走行するため、歩行者にとっては危険である。また、自転車のマナーが悪い。	25	
観光シーズンには、歩道からあふれるほどの観光客で混み合い、通行が困難である。	31	東大路通は、地域住民の生活道路であるとともに、国内外から多くの観光客が訪れる道路であり、観光シーズンには、歩行者が歩道からあふれるほど混雑した状況となっています。
東山は、京都を代表する観光地である。しかし、快適な歩行空間とはいえない。	12	整備構想（素案）においては、安全快適で、沿道の賑わいなど地域コミュニティにも配慮した生活道路としての機能の向上に加えて、無電柱化の実施など、観光客にとっても安心・安全で快適な歩行空間の確保を目指すこととしています。

2 「東大路通整備構想（素案）」に対する御意見

588件

いただいた御意見(要旨)	意見数	本市の考え方
車線数の減少等も含め、歩道を広げること は必要である。	377	現在の東大路通は、安心・安全な歩行空間 にはなっていないため、車線数の減少等も含 めた道路空間の再構成を検討しています。 整備構想（素案）においても、交通容量の低 下に伴う東大路通の交通の混雑、周辺道路へ の車の流入等の課題に対応するため、他の市 内幹線道路への自動車交通の適切な誘導・分 散等の対策を講じることとしています。
車線数の減少等も含め、歩道を広げること は必要であるが、渋滞への対策を十分講じて ほしい。	38	今後、この方針に基づき、具体的な整備の 内容を示す整備案の作成に向けて、調査等を 実施していきますが、市民の皆様と情報を共 有するとともに、引き続き、関係機関等と協 議・合意を得て、事業を推進できるよう努め ます。
現状から車線数を減らすと、渋滞が悪化し、 安全面での問題も心配されるため、車線は減 らすべきではない。	130	車線数の減少等を含めた道路空間の再構成 を検討した場合、東大路通における交通混雑 の発生や緊急車両の円滑な通行が課題となり ます。そのため、整備構想（素案）におい ても、通過交通を適切に誘導・分散するとと もに、パークアンドライドの拡充、公共交通の 利用促進などを進め、自動車交通の東大路通 への流入を抑制するための対策を検討するこ ととしています。
交通渋滞等の原因となり、荷捌きへの影響 も心配される。	24	また、基本方針にも掲げ ているとおり、緊急車両が通行できる道路構成 とすることにより、安心して暮らせるまちづ くりを目指します。 荷捌き車両については、東大路通の周辺や 沿道の店舗等で営業活動をしておられる方 にとって必要なものであり、課題への対応を より明確にするために、整備構想の「4「歩 いて楽しい東大路」の実現に向けた考え方」に 、「適正な荷捌き機能の確保」を追記しました。 事業の推進に当たっては、今後予定してい る調査の結果も踏まえて、課題を克服するた めの具体的な対応策についてお示ししなが ら、進めていきます。

いただいた御意見(要旨)	意見数	本市の考え方
観光面だけでなく、地域で生活や商売をしている人にも配慮した計画にしてほしい。	19	東大路通の沿道には、官公庁や病院など生活に密着した施設のほか、店舗、住宅等があり、地域住民の皆様にとって大切な生活道路です。そこで、整備構想(素案)の基本方針として、現在の道路幅員の中で歩行者が安心・安全、そして快適に通行できる空間の確保を最優先とし、また、地域コミュニティの活性化の視点も重視して事業を推進することとしています。 東大路通の交通混雑や周辺の地域生活道路への車の流入、荷捌き機能の確保などの課題についても、今後、より詳細な調査を実施したうえで、その結果を踏まえ、具体的な対応策を検討します。

3 「東大路通整備構想（素案）」に対する御提案等 448件

いただいた御提案(要旨)	意見数	本市の考え方
マイカー（特に市外ナンバー）の流入抑制をしてほしい。また、観光シーズンや週末は進入しないようにしてほしい。	114	東大路通は市内中心部の幹線道路であり、また、通過交通や観光を目的として訪れる方の自動車が多いという交通の特徴と課題を踏まえ、整備構想（素案）において、他の市内幹線道路への自動車交通の適切な誘導・分散、パークアンドライド等による市内への自動車流入の抑制に取り組むこととしています。
パークアンドライドを拡充してほしい。	43	観光シーズンには、臨時のパークアンドライド駐車場の確保や臨時交通規制などの交通対策を実施しているところですが、公共交通の利用促進策をはじめ「歩くまち・京都」総合交通戦略」に掲げる組を幅広く展開していきます。
安全で走りやすい自転車の走行空間を確保してほしい。	102	整備構想（素案）の基本方針に、自転車にも安全な道路空間の整備と、歩行者、自転車、自動車とともに交通ルールとマナーを守る安心・安全なまちづくりを掲げており、ハード、ソフト両面での取組を推進していきます。 整備構想の「2「歩いて楽しい東大路」の実現に向けた基本方針」に、「自転車が安全で快適に通行できる道路空間の整備を目指します。」と追記しました。
東大路通を一方通行化や方向別に車線数を変えることにより、渋滞にも配慮して歩道を広げてほしい。	54	整備構想（素案）においては、交通容量の低下に伴う東大路通の交通混雑の発生に対応するため、他の市内幹線道路への自動車交通の適切な誘導・分散等の対策を講じることとしています。今後、交通シミュレーションなどの調査を実施し、交通容量の低下に伴う諸課題への具体的な対応策を講じていきます。
歩道について、景観の面からも、無電中化を実施してほしい。また、はみ出し陳列等の対策をしてほしい。	44	道路上を横断する電線や歩道上に設置された電柱は、東山の豊かな景観を損ねています。整備構想（素案）の基本方針に掲げているように、優れた沿道景観を形成するために、道路空間の見直しと併せて、無電柱化の実施についても検討します。また、地元の皆様と連携し、道路の不適切な利用の改善に向け、マナー向上のための啓発等を行います。

いただいた御提案(要旨)	意見数	本市の考え方
東大路通に新たな公共交通機関の導入を検討してほしい。	29	市内全域での交通体系のあり方を考える中で研究します。
勾配改良やバリアフリー化等、歩道の改良をしてほしい。	20	東大路通は歩道が狭いうえ、歩道部が車道から民地側に向けて傾斜するなど、高齢者等には通行が難しい環境となっているため、構想素案の基本方針において、歩行者が安心・安全で快適に通行できる空間の確保を最優先とすることとしています。 事業の推進に当たって、バリアフリー化は重要な要素として、具体的な検討を深めていくことを明確にするため、「2「歩いて楽しい東大路」の実現に向けた基本方針」に「歩道の勾配の改良」を追記しました。
歩行者の安全のため、柵の設置など、歩行者と自動車を明確に区分してほしい。	17	東大路通は、歩道幅員が狭い箇所もあり、歩行者にとって、安全な歩行環境となっていない。整備構想(素案)においても、歩行者が安心・安全で快適に通行できる歩行空間の確保を最優先としています。今後、道路空間の再構成に当たっては、いただいた市民意見を参考にしながら検討します。
荷捌スペースを確保してほしい。	16	物流交通において貨物車は不可欠な交通手段であり、東大路通の周辺や沿道の店舗等で営業活動をしておられる方にとって、荷捌きは大切なものです。適正な荷捌き機能の確保も配慮した道路空間の再構成を検討することを明確にするため、整備構想の「4「歩いて楽しい東大路」の実現に向けた考え方」に、「適正な荷捌き機能の確保」を追記しました。
案内板、ベンチ等の整備を充実してほしい。	9	観光案内標識は、観光客等にとって大切な情報源であり、分かりやすい案内板や、沿道の憩いの空間は、整備構想(素案)の基本方針に掲げる観光振興や地域コミュニティの活性化などに効果があります。 今後、御意見をいただいた案内板やベンチの設置をはじめ、「歩いて楽しい東大路」実現に資する様々な事項について、幅広く検討します。